

足立健康友の会 かばら支部ニュース

第54号
2013年1月17日
☎: 3605-5594
<http://kabara-tomonokai.kenwa.or.jp/>
mail:kabarashibu@yahoo.co.jp

蒲原診療開設50周年・

蒲原歯科診療所開設30周年

仲間増やしで5年連続達成

新年おめでとうございます。
今年には蒲原診療所開設五十周年・蒲原歯科診療所開設三十周年の節目の年でもあります。

この記念すべき年に共同組織の仲間増やしでかばら支部は、職員と友の会が共同して5年連続して目標を達成して花をそえました。
蒲原診療所と蒲原歯科診療所の



両所長から年頭挨拶を頂きました。



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、我々診療所の医療・保健・健診・介護活動に対する日頃からの皆様の御理解と御協力に対し心から御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、

今年には蒲原診療所開設五十周年・蒲原歯科診療所開設三十周年を迎えることが出来る記念すべ

き年となります。

微力な我々がかくも長く活動を続けられ、少なからぬ成果を上げることが出来たのは皆様の御支援・御支持の賜と職員を代表して重ねて御礼申し上げます。

今後猶も十年・二十年とこの活動が猶絶ゆまず続くよう、職員一同努力していきます。皆様にも今までと変わらない御理解と御協力をお願い申し上げ挨拶といたします。

蒲原診療所長 高 重義

新年明けましておめでとうございます。

今年には蒲原診療所開設五十周年・蒲原歯科診療所開設三十周年の節目の年でもあります。

昨年末の総選挙では、国民の期待を裏切った民主党政権から元の自公政権に逆戻りし、相変わらずの「公共事業バラまき、社会保障切り捨て」がますます加速しそうな情勢です。

また憲法改正や国防軍などが公然と論じられるように、日本の将来にとつても大切な時期を迎えています。

東和周辺の地域も時代とともに様変わりしていますが、いつの時代にあつても、地域の良きパートナー、気軽な相談相手でいられる

ように、今年も職員一同頑張りまします。
今年もよろしくお願いいたします。

蒲原歯科診療所長 吉田 万三

神社で青空健康チェック

第38回共産党のしのめ会もちつき大会が12月23日、東和3丁目の蒲原神社境内で行われました。この日は寒い一日でしたが、1年に1回の臼でついた手作りの餅に参加者は舌づつみを打って口にほうばっていました。

また、餅のつき手はベテランの年長者から「生まれて初めて餅をついた」と言う子どもまで幅広く、80キロのもち米も予定時間まですべてつき終わりました。



友の会は毎年「青空健康チェック」で参加しています。役員3人と蒲原診療所の藤原看護師が担当。20数人の方が血圧測定や健康相談でコーナーを訪れました。もちつきを見学し、もちもをついた外国人が目につきました。その友達

の若いカップルがチェックを受けにきました。彼はスエーデン人で日本初体験の餅つきに大変感動していたと話し、しかも健康チェックまでしてくれることに、驚いていたと話してくれました。カップルは全く健康で、嬉しそうにかえりました。その他、かばら以外で診察を受けていますが、健康診断は受けられますか？とか、普段から掛り付けの病院がないという人もいて、ぜひかばらへ診察をうけてくださいというお誘いもでき、役員の知り合いの方が入会してく

れました。寒いなか、内容の濃い、健康チェックでした。また、友の会

役員有志と職員有志がつくる「トシ汁」も盛況で、もちつき大会の終了を待たずに完売しました。

報告 田中 英人

今年はおばら支部でも「一人暮らし」の方を対象とした「お茶会」を開こう、と友の会役員会で年度の初めに決めたそうです。

それに沿って診療所の職員も協力して12月12日（水）午後2時

一人暮らしの方のお茶会を開く 居場所づくりの第一歩

に「一人暮らし」の方のイメージは「孤独で寂しい」と言う印象を持ちがちですが、このKさんに限っては例外でした。多くの友達がいって格段な温泉旅行を気の合った友達数人と春夏秋冬に楽しむなど、

盛り沢山の楽しみごとを持つていることに感心しました。

また、班会で「小物作り」を紹介したFさんには「私もやってみたい」と意欲的です。

話しが進んだ時のことです。Kさんの友達で急に老けこんだ人がいて、その人は教養もありプライドも高い人だったらしいのですが、ある日、娘さんから、きつく叱られた2日間、口を開いてもらえなかったため、心をわずらい見る影も無くなってしまった、との話がありました。この話には実際、高齢の母親を持つ私と役員のSさんが同時に「母親の気安さから、つい怒ってしまうこともあるけど、今の話で気を付けないといけないことを痛感したね」と思わずうなずき合いました。

この日参加した一人暮らしのKさんは「今日はとても楽しかった。今度、開く時も声をかけて、参加したいから・・・」とのことで「暖かくなったら他の人にも声をかけ楽しい集まりを持ちましょう」と春の再会を約束し合って第1回のお茶会を終わりました。

担当 看護師長 森倉 明代

新春のこづい

2月10日10時
かばらデイサービス

昨年末の総選挙で増税と改憲勢力が大きな議席を占め国民の生活と平和が脅かされ不安な気持ちで新年を迎えました。

友の会恒例の七福神巡りに今年も48名が参加し、かばら支部からも12名が参加しました。

浅草七福神めぐり

綾瀬駅ホームで事前に確認した9人が集合して北千住の東武線中央口に行くとともにさらに支部でつかんでいない3名が合流し12名になった。

今回は浅草七福神で交通の関係で浅草駅に集合の参加者も数名いました。

浅草駅の北改札口から支部ごとにまとまり最初の行き先で

ある待乳山聖天の「毘沙門天」に向け出発しました。歩き始めると右手のビルの間からスカイツリーが直ぐ近くに迫り満点で空高くそびえて見えました。次はすぐ近くの今戸神社の「福祿寿」です。境内にはいい縁談に恵まれようと願掛けした絵馬がたくさんつるしてありました。次は少し歩き橋場不動尊の「布袋尊」、続いて近くの石浜神社の「寿老人」、ここは本殿に祭ってなくそのことを多くの人が知らず「寿老人」を拝むことなく

移動して行く人が多かった。本殿右となりの小さな社に30センチ位の「寿老人」が安置されていた。

その次はだいたい離れた場所である吉原にある吉原神社の「弁財天」です。すぐ手前の道路の両端に「吉原大門」の大きな木の柱が立っていました。あたりは旧吉原のなごりか風俗関係のお店がたくさんありました。続いてお西様で有名な鷲神社の「寿老人」。浅草七福神は「寿老人」と「福祿寿」が2箇所あります。夜のお鳥さんしか来ることがないので昼間の熊手の露店が無いので全然別の神社という感じでした。ここでお西様をバックに集合写真を撮りました。かばら支部は支部の参加者だけでも撮りました。次は河童橋にある矢先神



社の「福祿寿」ですがこちらをまわって浅草寺に行くと30分余計に歩くということで直接浅草寺に



行く組と矢先神社も回る組に別れました。約半分が楽な浅草寺直行組に行きましたがかばら支部は8名が残りました。距離は長かったが河童橋界限はきたことがなかったのが嬉しかったです。最後は浅草寺界隈はお正月で大変込み合っていました。露天の立ち並ぶごみの中を友の会の旗をたよりに無事に浅草神社の「恵比寿」、浅草寺の「大黒天」を巡り完結しました。今年には神頼みだけではだめで参議院選挙と都議会議員選挙があるので頑張りたいと思った一日でした。

その後、人ごみにの中遅めのお昼を食べる店を探し歩き寿司屋の2階で自己紹介をしながら交流しました。

担当 渡辺 政次